

観光開発 観光地プロデュース・プランニング

Tourism Development
Tourism Produce
Tourism Planning



木村 ともえ
KIMURA Tomoe

准教授（専門職大学院）

Associate Professor
The Professional Graduate School

専門領域 Areas of expertise

■観光分野地方創生

Regional Revitalization (Tourism)

■観光地ブランディング

Tourism Branding

■観光地プロモーション

Tourism Promotininon

主な担当科目 Subjects

■観光地プロデュース

■観光ツアープランニング

研究活動 Research

2008年より、主に観光地のマーケティングとブランディングを研究している。研究対象は地方行政を主とする観光地域づくりの関連事業。事業の関わり方は、総合的なプロデュース、戦略策定、アクションプランに始まる。これらを成立するための、調査や会議、商品開発、リアルプロモーション、Web、SNSプロモーション等を総合的に手掛ける事で、観光開発やプロデュース・プランニングを研究している。

□主要研究業績要旨

熱海市シティブランドプロモーション事業「意外と熱海」2013年～2019年

観光ブランディング事業および誘客促進事業のプロデュース。
①バラバラのプロモーション②宿泊の低迷③観光まちづくりができてない、3つの市の課題に対して「意外と熱海」というコンセプトをたて、インナーキャンペーンを軸足に観光施策を実施した。観光KPIは年間のべ宿泊者数の10%増のべ宿泊者数を3年間で達成することから、リアルエージェント、オンラインエージェントと誘客のへこみ時期に集中的に来訪誘導を繰り返し行った。事業開始から2年で、ターゲットのF1、F2層が来訪し始め17年ぶりに300万人のべ宿泊者数を達成。KPI達成の実績で、2016年から3年間、2019年からまた3年とプロデュースを継続し、プロジェクトマネジメントを実施した。また、路地裏レトロ散歩シリーズを開発し、スイーツや純喫茶やスナックに光をあて周遊改善も実施。静岡大学との観光動態調査や、静岡県立大学とICT調査、交通系ICカード利用動態調査など産官学の共同研究も実施した。



「意外と熱海」は認知度の高い「温泉」ではなく「まち」をプロモーションした



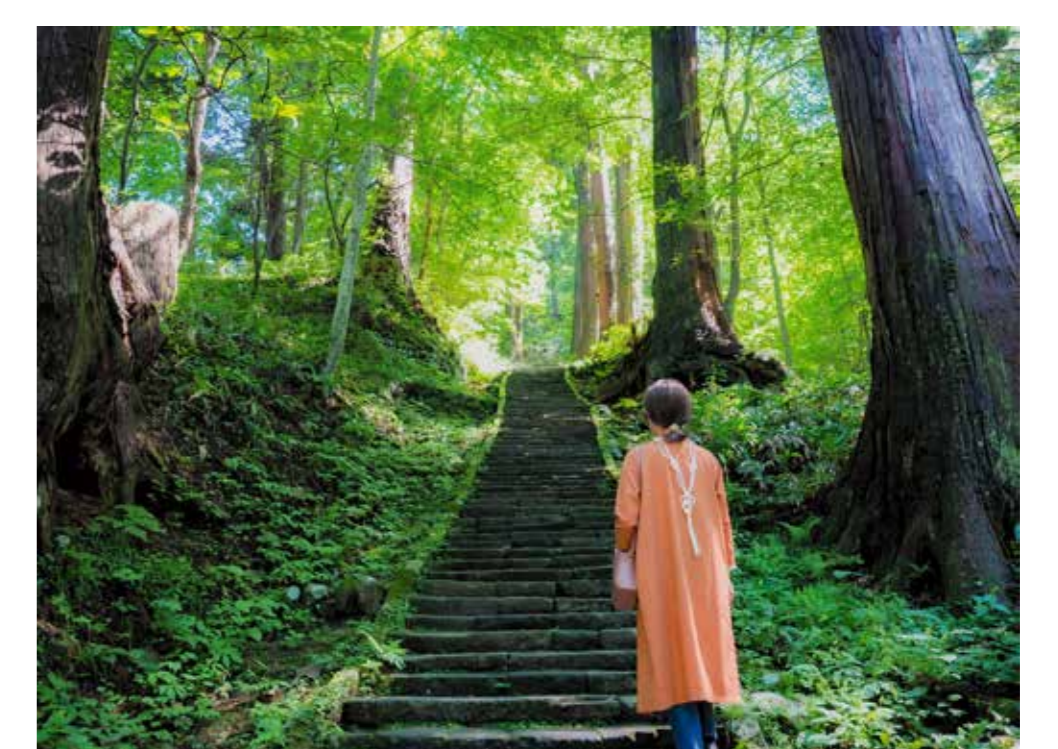
路地裏散歩シリーズは女将会と協働。昭和、純喫茶などを掘り起こした

鶴岡市観光戦略 DCの機会を活かした公民連携での戦略提案 2017年～現在

観光戦略立案、体制整備、事業構築のトータルプロデュース。
JRディスティネーションキャンペーンを機に観光振興を強化したい鶴岡市は、今までのイベント型のDC活動からの脱却を課題としていた。観光企画委員会を立ち上げ、観光客動態調査でお客様の動きをとらえ、域内周遊の全容が見えたところで課題の再認識をし、観光戦略を立案。官民共同の礎を構築した。その後、周遊ツールを作成しDCを機に旅行エージェントの特典とし誘客活動を強化。2020年鶴岡ツーリズムビューローが成立後も、アドバイザーとして伴走。コロナ禍の精神文化の発信「三寺社プロジェクト」特別御朱印の開発と収益化や、現代の講をつる「出羽三山2446段石段詣」も開発。2021年6～10月で2千人の参加実績を獲得し、現在も継続中。観光調査は静岡県立大学と共同研究。



「手ぬぐいスタンプ帖」は観光客動態調査をもとに、酒田と広域で実施



地域一体となって開発した、山形県鶴岡市羽黒山「石段詣」#石段詣

ゼミ活動 Education

① ひらかれた活動を

(株)ジェイアール東日本企画とのクロスアポイント教員であることから企業との協働を検討

② 文化資源の研究活動

歴史的価値の高い施設の活用や、日本独自の文化としての寺社仏閣の在り方の研究を検討。2023年4月より(株)ジェイアール東日本企画が管理する熱海市文化施設指定管理も対象



tourism

Love your place
Share it with the world